

令和7年度前学期 社会人公開授業

| | |
|-------|--|
| 科目名 | 法思想史 A |
| 開設学校名 | 朝日大学 |
| 講師 | 法学部法学科 准教授 椎名 智彦（しいな ともひこ） |
| 初回予定日 | 2025年4月7日（月） |
| 授業時間 | 毎週月曜日 4時限目 14時55分～16時25分（全15回） |
| 主会場 | 朝日大学 穂積キャンパス 6号館5階 6504講義室 |
| 聴講方法 | 対面授業 ディスカッション、ディベート、討議、ICTを活用した双方向型授業 |
| 科目内容 | <p>法思想史 A は、基礎法学の1つとして実定法を異なる角度から照らし出し、その理解を促進する役割をもつ。現代の法律や裁判例の基礎には、歴史的に受け継がれてきた正義や公正、平等や自由に関するアイデアが伏在している。また、良い裁判をめぐる考え方も、同様に長い歴史を経て発展してきたものである。それらは、過去の悲惨な事件や戦争、大規模な人権侵害への反省から導かれたものでもある。本講義では、それらの歴史と法をめぐる考え方のつながりを明らかにし、現代の法を見る目をより豊かなものとするを目的とする。</p> <p>本講義は、西洋法思想が中心となるが、部分的に非西洋社会の伝統的な法思想にもふれる。</p> <p>[到達目標]</p> <p>さまざまな法思想がもつ独自の発想方法および背景を理解し、その具体的内容を説明できるようにする。また、法思想史の学習を通じて現代世界の法に関する理解を深め、その基礎にあるアイデアを正しく識別および応用できるようにする。</p> |
| 注意事項 | <p>高校生は受講できません。授業実施日については学年暦でご確認ください。</p> <p>7月24日(木)は月曜日の15回目の授業を実施します。</p> <p>テキスト：中山竜一・浅野有紀・松島裕一・近藤圭介『法思想史』（有斐閣 2019） ISBN：978-4-641-22133-8</p> |

授業の開催日程

| 回 | 日付 | 講義テーマ |
|------|-------|--------------|
| 第1回 | 4月7日 | 序論：法思想史を学ぶ意義 |
| 第2回 | 4月14日 | 古代ギリシアの法思想 |
| 第3回 | 4月21日 | 古代ローマから中世へ |
| 第4回 | 4月28日 | 自然法論の新たな展開 |
| 第5回 | 5月12日 | 啓蒙の法思想 |
| 第6回 | 5月19日 | ドイツ観念論と歴史法学 |
| 第7回 | 5月26日 | 近代イギリスの法思想 |
| 第8回 | 6月2日 | アメリカ建国 |
| 第9回 | 6月9日 | ドイツ法学の展開 |
| 第10回 | 6月16日 | 革命から2つの大戦へ |

裏面につづく

| | | |
|--------|-------------|-----------------|
| 第 11 回 | 6 月 23 日 | 戦後の法理論 |
| 第 12 回 | 6 月 30 日 | 現代法理論の展開 |
| 第 13 回 | 7 月 7 日 | 現代正義論の展開 |
| 第 14 回 | 7 月 14 日 | グローバル化の中の法思想 |
| 第 15 回 | 7 月 24 日(木) | 西洋法中心主義から法多元主義へ |